

第5回 菅原地区意見交換会
「新たな地域コミュニティ」の実現に向けて
(令和7年2月8日(土) PM 実施)

ワークショップ：地域コミュニティ協議会で活動したい取組みを考えてみましょう

【1班】

<現状>

- ・無縁社会化している⇒きっかけがないと会話しない
- ・協議会設立の意義を知ってもらう必要性⇒各団体のリーダーへの周知が必要
- ・小学生対象の行事の計画⇒人集めに苦慮している
- ・菅原小体育館でお泊り会実施⇒菅原小を通じて周知した
※防災面では、エアーマット使用
- ・夏祭り⇒コロナで中止
- ・祇園祭⇒蛇のつくりものを川に流す

<こうなってほしい>

- ・子育て世代⇒活動拠点が必要⇒子どもを預けられる環境を整えたら集める機会が増える
- ・単独実施が困難なもの⇒いくつかの団体が協同で実施が可能
- ・小学生保護者に活動を周知
- ・元消防職員の参加⇒防災知識を得られる＝周知が可能
- ・協議会内で、各種団体の情報が共有できるようにする
- ・不参加者からも意見を聞く（アンケート等で）
- ・地区意見交換会が実施されていることを、もっと周知していきたい
- ・耕作放棄地を利用して観光・移住アピール（例）田んぼアート）

<課題>

- ・女性部活動の推進⇒働く女性が多いため部員の拡大が課題